

登別中学校 第1回学校適正配置に関する地区別検討委員会

会 議 次 第

日時 令和3年10月6日（水）18時00分

場所 登別市婦人センター講堂（2F）

1. 開会

2. 教育長あいさつ

3. 会長及び副会長の選出

4. 地区別検討委員会の進め方について

5. 協議事項

（1）教育環境の観点から見た学校統合の必要性について

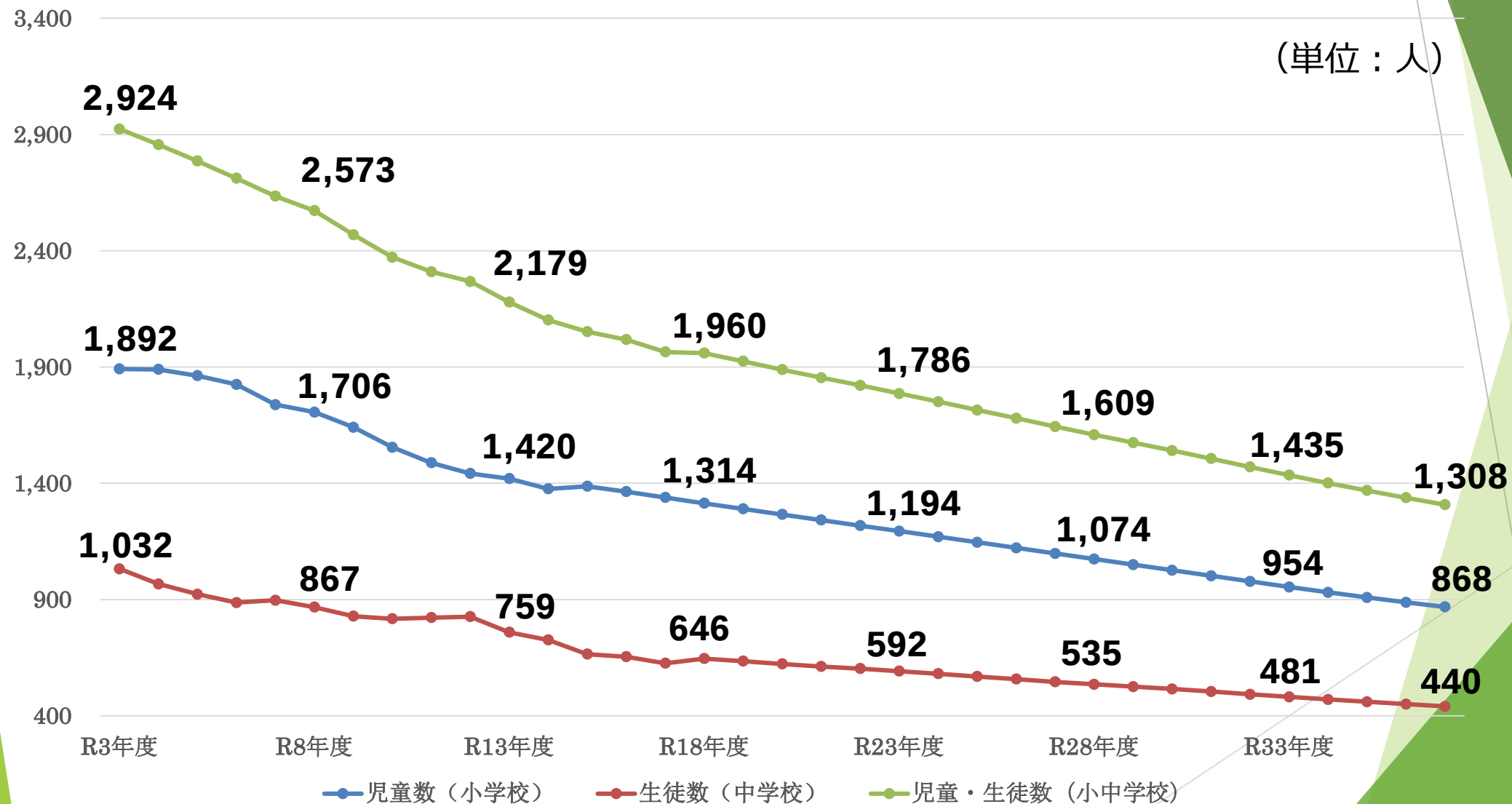
6. その他

7. 閉会

登別市小中学校の適正規模・適正配置の指針 ～将来における小中学校のグラントデザイン～ (概要版)

**令和3年10月
登別市教育委員会**

市内児童・生徒数推計（R3～R37）



将来における適正配置の姿（グラントデザイン）

ポイント

- 第1期～第3期の期別に、児童・生徒数推計に基づいて小中学校の適正配置の姿を提示
- 第1期（R3～7年度）に関しては、『適正配置基本方針』で示す「学校の規模」を下回る学校に関し、具体的取組を進めることを想定し検討
- 第2期（R8～17年度）に関しては、『適正配置基本方針』のほか、国が示す手引きなども勘案し検討
- 第3期（R18～37年度）に関しては、現在の学校区をベースとしながらも、学校区を再編成することも視野に検討

登別市学校適正配置基本方針（H26.5策定）

● 学校規模の目安

小学校：1 学年 1 学級以上

中学校：1 学年 2 学級以上

● 学級規模の目安

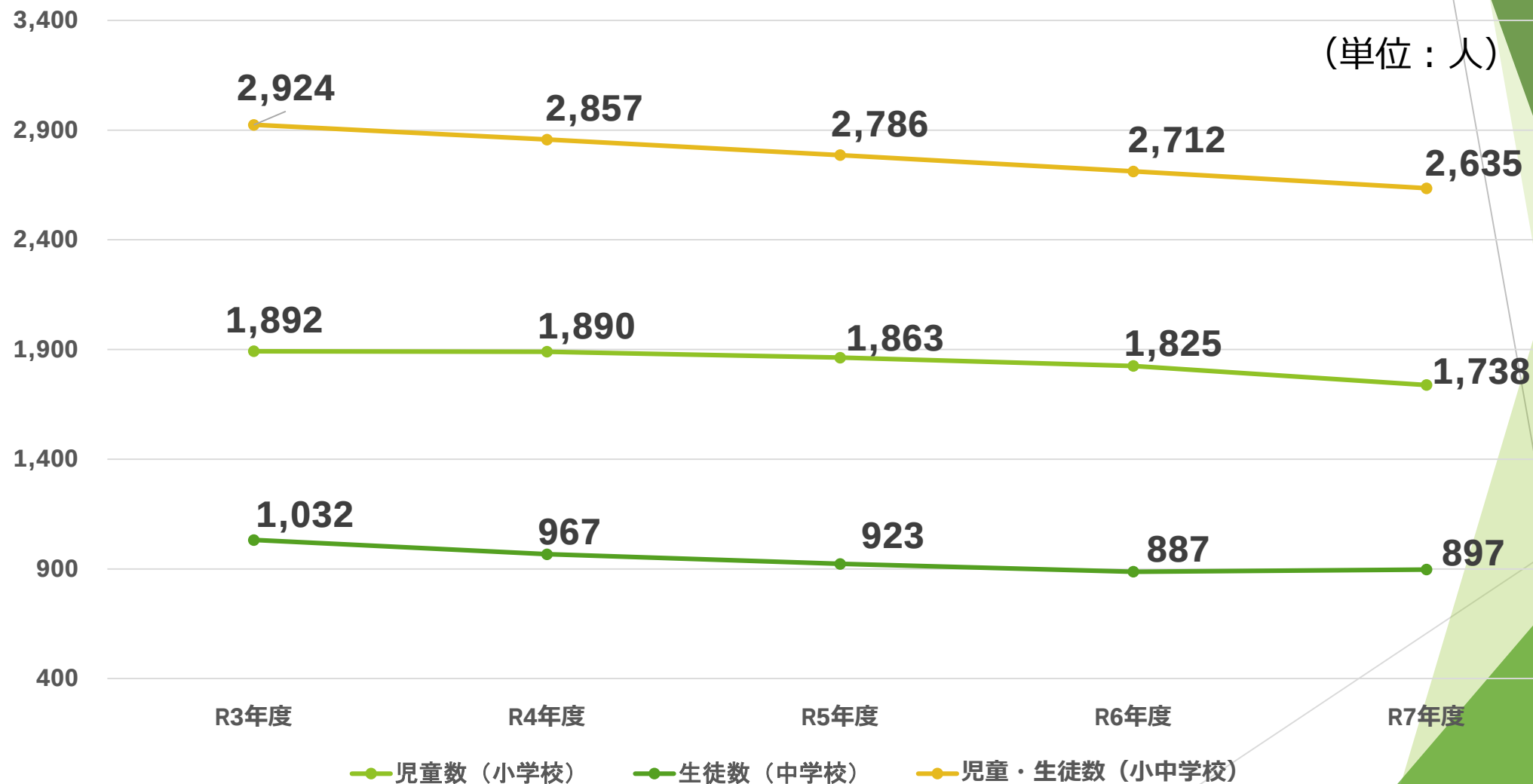
1 学級 20 人程度以上（1 学年 1 学級の場合）

● 適正配置の手法

通学区域の拡大（隣接学校との統合）

通学区域の見直し（隣接学校との校区調整） など

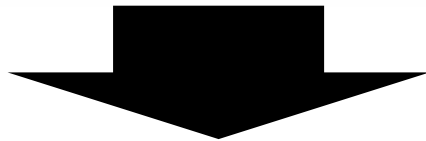
第1期（R3～R7年度）の児童・生徒数推計



第1期（R3～R7年度）の適正配置の姿

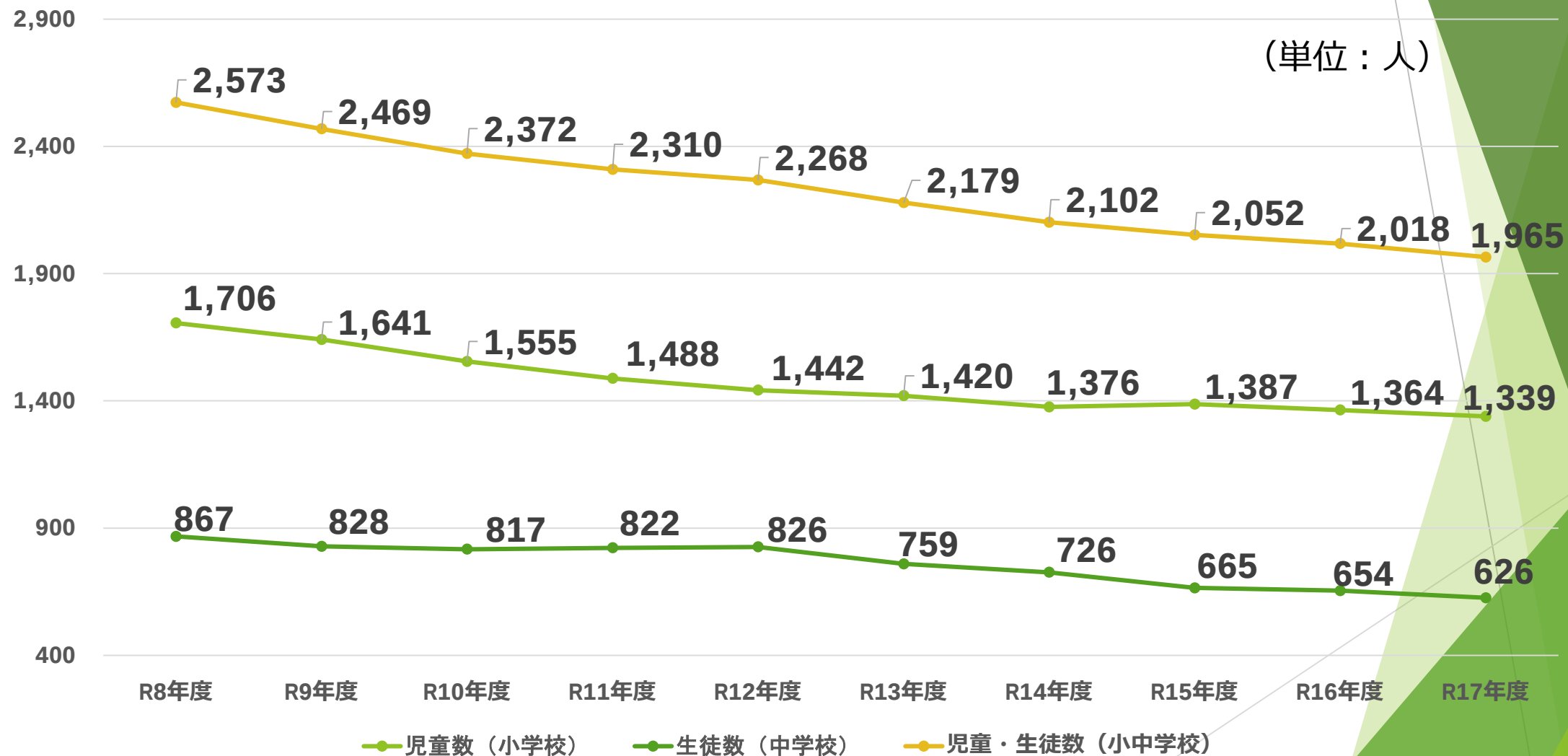
ポイント

- 幌別東小学校について、幌別小学校との統合を想定
- 登別中学校について、幌別中学校との統合を想定
- 登別小学校については、今後も存続。特色ある教育を推進し、学校区外より児童を受け入れることも検討



小学校7校／中学校4校の1 1校体制

第2期（R8～R17年度）の児童・生徒数推計



第2期（R8～R17年度）の適正配置の姿

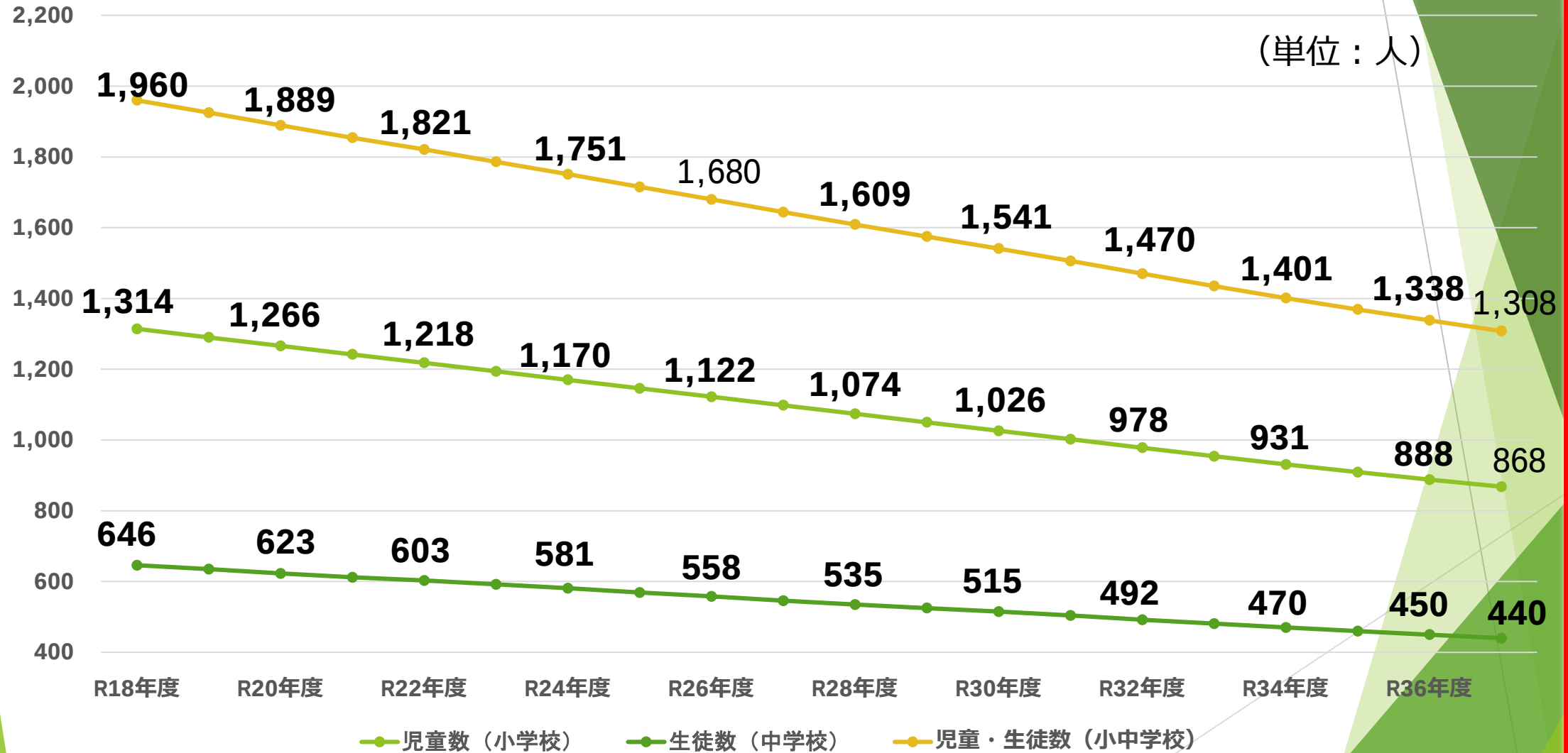
ポイント

- 中部地区の4小学校（幌別小学校、幌別西小学校、青葉小学校、富岸小学校）について、2校体制に再編成することを想定
- 若草小学校と鷺別小学校を1校に統合することを想定
- 幌別中学校と西陵中学校を1校に統合することを想定



小学校4校／中学校3校の7校体制

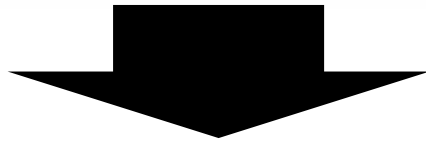
第3期（R18～R37年度）の児童・生徒数推計



第3期（R18～R37年度）の適正配置の姿

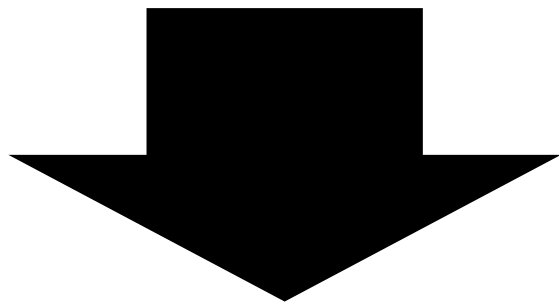
👉ポイント

- **小学校**に関しては、4校体制を維持
(登別小学校、中部の新設校①、中部の新設校②、
若草小と鷺別小の統合校)
- **中学校**に関しては、市内を2つの学区に再編成
し、2校体制とすることを想定



小学校4校／中学校2校の6校体制

**グラウンドデザインは、
現時点で想定される学校配置の姿**



**どのような形で適正配置を実現する
かは、保護者や地域の皆さんと議論
を重ねながら決定**

登別中学校 地区別検討委員会の進め方について

**令和3年10月6日
登別市教育委員会**

地区別検討委員会での議論のあり方

(教育環境の観点) 学校統合の必要性



統合にあたっての検討課題検証

学校には2つの側面

子どもたちの学びの場

まちづくりの中心



教育上の検討課題

まちづくりの検討課題

両面から議論

地区別検討委員会での議論の進め方

教育環境の観点から統合の必要性を議論



統合にあたっての教育上の検討課題



教育的観点から一定の方向性



統合にあたってのまちづくりの検討課題



地区別検討委員会としての結論

登別中学校：統合にあたっての課題

①通学距離・通学時間

②統合時の子どもたちの反応

③統合後校舎の跡利用

教育環境

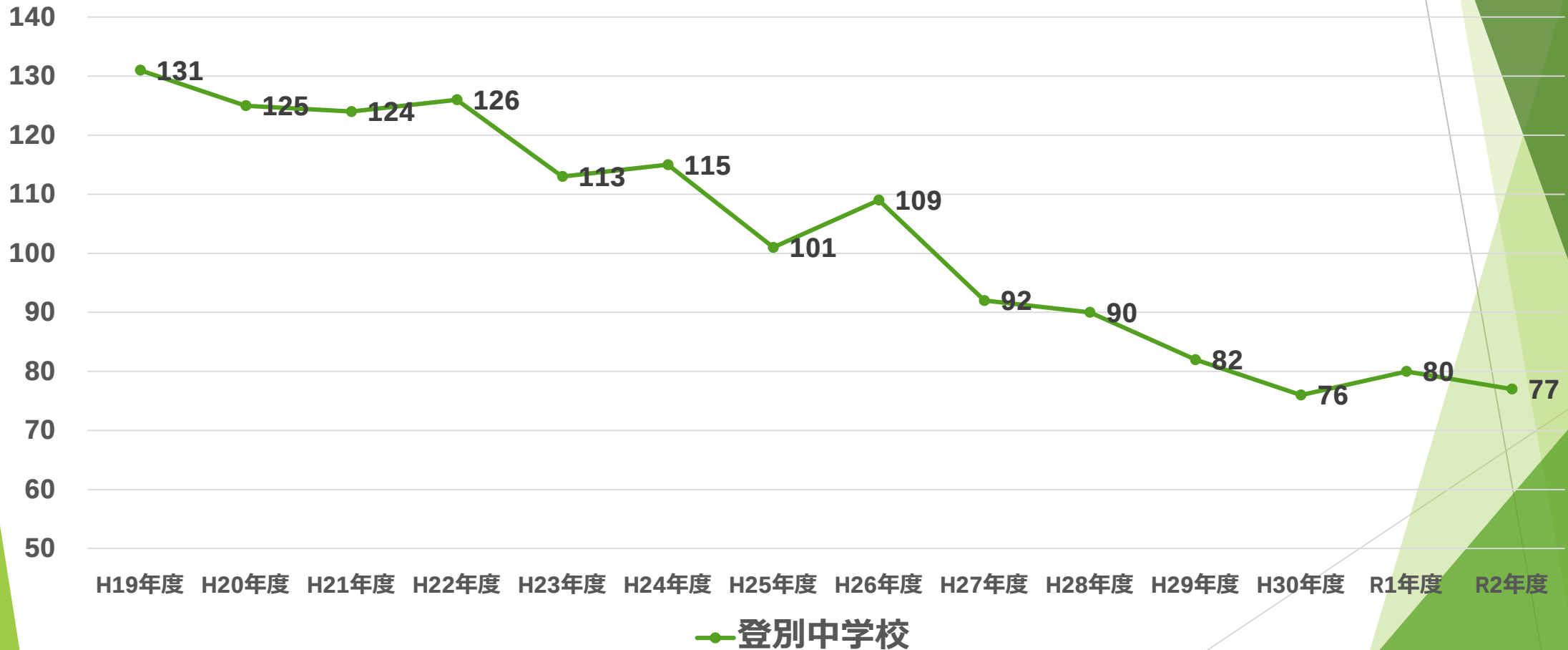
まちづくり

登別中学校の現状と 今後の見通しについて

令和3年10月6日
登別市教育委員会

「登別中学校」の状況

登別中学校の生徒数推移（H19～R2）



参考：登別市における学校規模等の目安

『登別市学校適正配置基本方針』策定（H26.5）

● 学校規模の目安

小学校：1 学年 1 学級以上

中学校：1 学年 2 学級以上

● 学級規模の目安

1 学級 20 人程度以上

（1 学年 1 学級の場合）

「登別中学校」の状況

- 学校規模

全学年 1 クラス

(目安は 1 学年 2 クラス)

- 学級規模

1 クラスで 20 人未満

(目安は 1 クラス 20 人程度以上)

※ともにR2.4.1時点

学校小規模化の「良さ」と「課題」

学校小規模化の「良さ」

- 一人ひとりに目が届きやすく、きめ細かな指導がしやすい。
- 学校行事や部活動等において、一人ひとりの活動機会を設定しやすい。
- 相互の人間関係が深まりやすい。
- 異学年間、縦の交流が生まれやすい。

意見交換会（7/15開催）で聞かれた意見

学校小規模化による「良さ」

- 先生が目が行き届きやすい。
- 先生のケアがきめ細かい。
- 子どもたちの仲が良い。
- 子ども同士の縦の繋がりも強い。
- 親同志も仲が良い。
- 素直な性格の子どもが多い。
- 地域との繋がりが強い。
- 地域との協力体制がある。

学校小規模化の「良さ」と「課題」

学校小規模化の「課題」

- ともに努力してよりよい集団を目指す、学級間の相互啓発がなされにくい。
- クラス替えが難しく、人間関係や相互評価が固定化しやすい。

【具体例】

登別中学校 全学年で1クラス

- 集団の中で、多様な考え方に触れる機会や学び合いの機会、切磋琢磨する機会が少なくなりやすい。

【具体例】

登別中学校（全校3クラス中）1クラスで20人未満

学校小規模化の「良さ」と「課題」

学校小規模化の「課題」

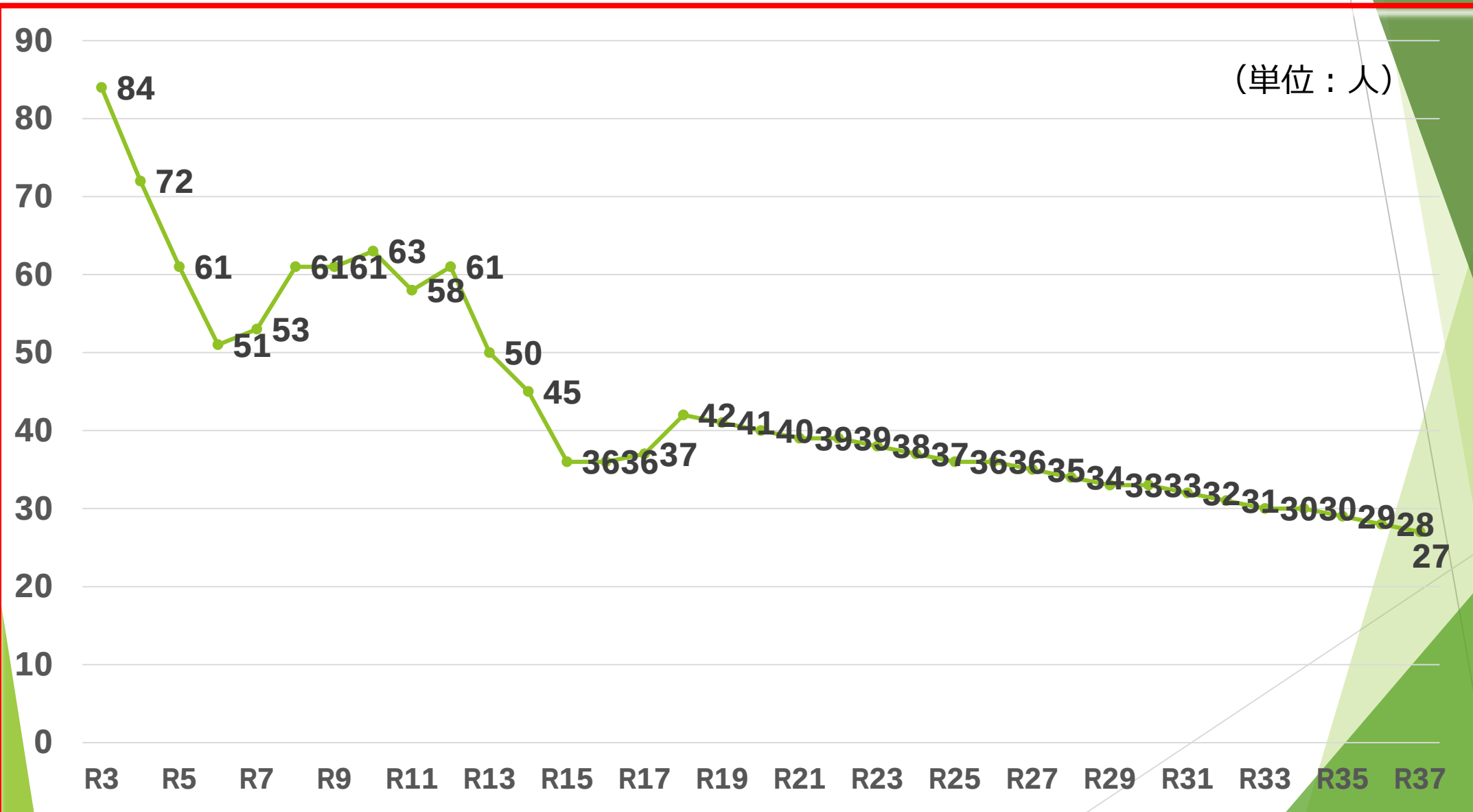
- 各教科の免許を持つ教員を配置しにくい。
 - ➡ 教員配置数が少なく、結果として免許外指導が発生
 - 【具体例】
登別中学校 ➡ 美術、技術、家庭科で専任教員の配置なし
- 部活動の設置に制約が生じ、選択の幅が狭まりやすい。
 - 【具体例】
登別中学校 ➡ バドミントン部、テニス部、吹奏楽部のみ
(生徒数の減少、顧問となる教員配置数の減少による)

意見交換会（7/15開催）で聞かれた意見

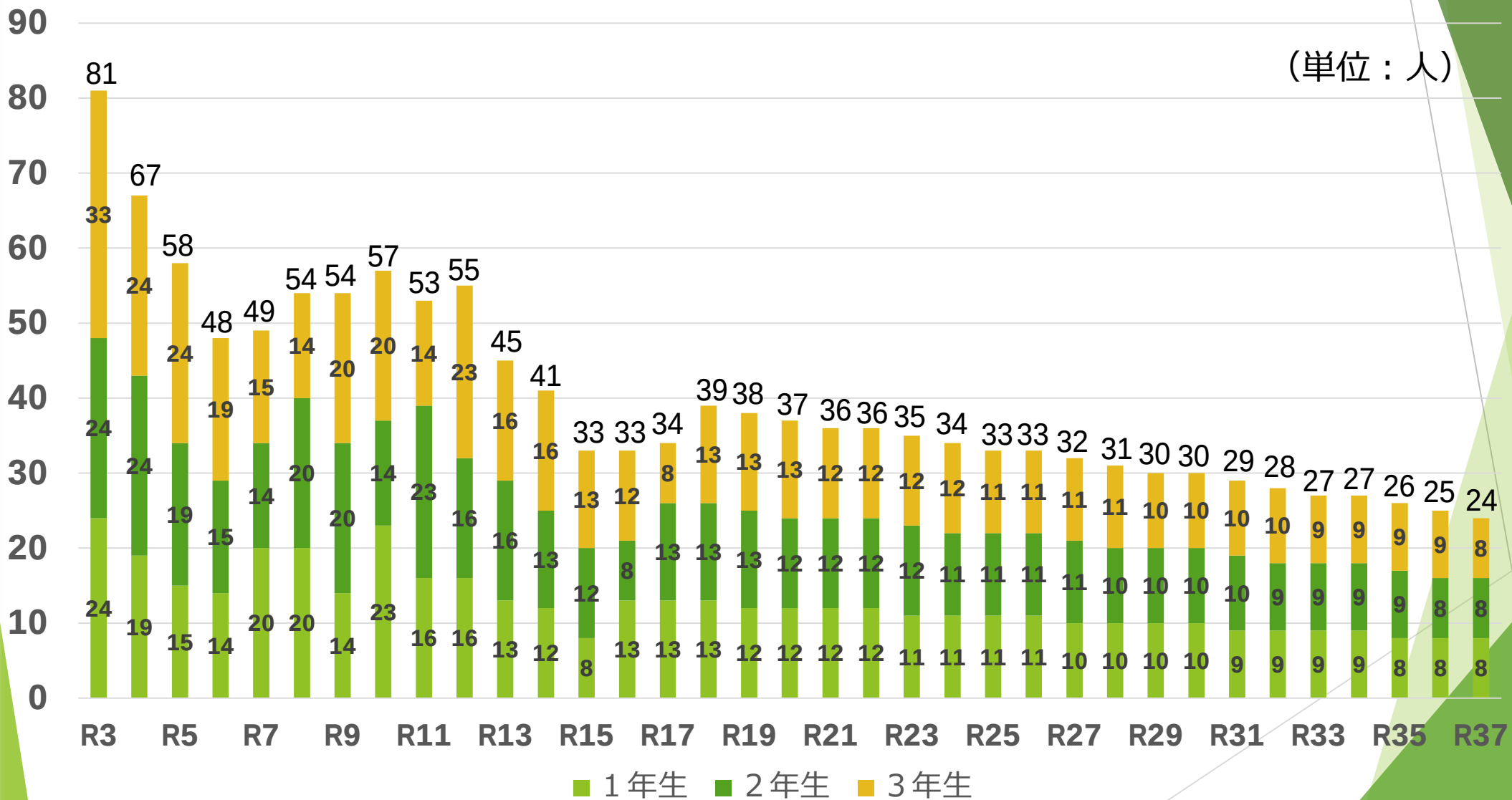
学校小規模化による「課題」

- 部活動の選択肢が少なく、やりたいスポーツをあきらめなければならないケースがある。
- 少人数のため経験の幅が狭い。
- 人間関係が固定化し、一度崩れると修復しづらい。
- おっとりした性格の子が多く、高校進学時などに環境に馴染みづらい。
- 男女の比率がアンバランスになる可能性がある。
- 一部教科で専門の先生が配置されないのは残念。

登別中学校の生徒数推計（R3～R37）



登別中学校の生徒数推計（学年別）



登別中学校の今後の見通し

現段階で**学校規模の目安（1学年2学級以上）**を下回っている。



全校生徒はR5以降50人台で推移し、R13以降は全クラスで20人未満



学校規模、学級規模ともに目安を下回る状況が続く



学校の小規模化がさらに進む見込み

登別中学校の今後の見通し

小規模化がさらに進むことにより

- 教員配置数が増加する見込みはなし

➡ 教員配置数が増えないため、
結果として免許外指導が続く可能性が高い

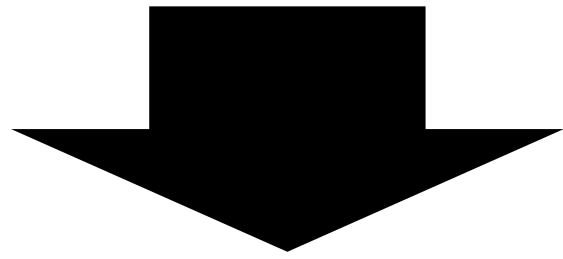
- 部活動の設置にさらに制約が生じる可能性あり

➡ 現在の3部（バドミントン部、テニス部、吹奏楽部）から
さらに減少する可能性

- 集団の小規模化がさらに進み、
経験や切磋琢磨の機会が一層減少する可能性あり

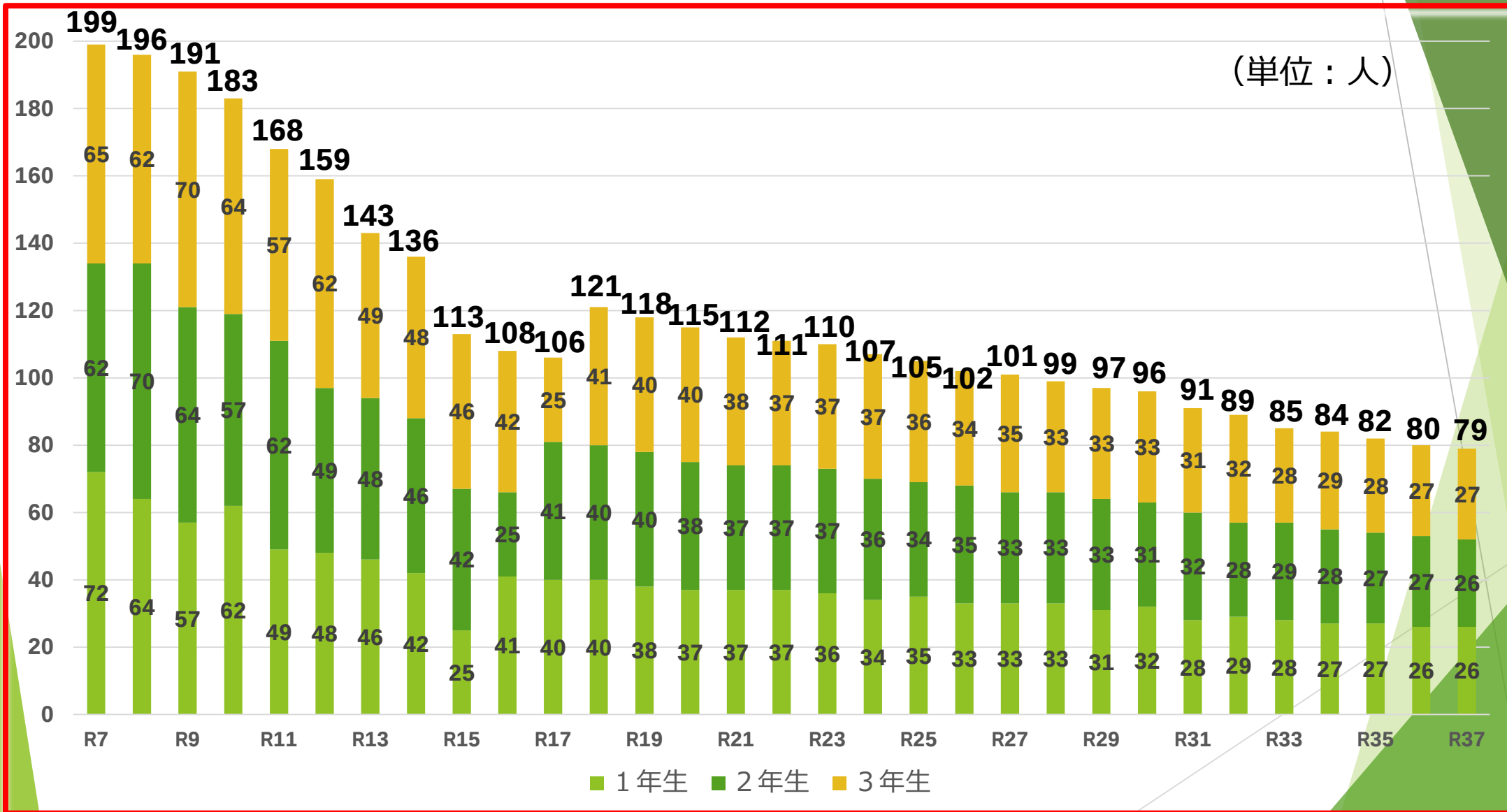
（小規模化の状況を踏まえれば）

**第1期（R3～R7）中に、
幌中との統合を行う必要あり**



**登別中学校の将来も見据え、
統合の是非に関し議論**

【参考】仮に統合となった場合の生徒数の推移



【参考】仮に統合となった場合の学級数の推移

(単位：学級)

区分	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17
1年生	2	2	2	2	2	2	2	2	1	2	1
2年生	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	2
3年生	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1
合 計	6	6	6	6	6	6	6	6	5	5	4

統合による教育環境の変化

新中学校の生徒数は200人規模（R7.4統合の場合）

当面の間 1 学年 2 クラスの状態が続く見込み

- 学級数の増により教員配置数が増加
- 部活動の選択の幅が増加
 - ➡ 現幌中には 8 つの部活動
 - ➡ 現登中との統合でさらに増える可能性あり
- 生徒数の増加で 1 学年 2 クラスを確保
 - ➡ 交流経験や切磋琢磨の機会が増加
 - ➡ クラス替えが可能となり人間関係の固定化を回避

登別中学校

子どもの教育のあり方 に関するアンケート

令和3年10月6日
登別市教育委員会

アンケートの概要

【目 的】

登別中学校の今後のあり方や統合の是非を議論するにあたっての資料とするため実施

【対象者】

登別中学校に通う生徒の全保護者

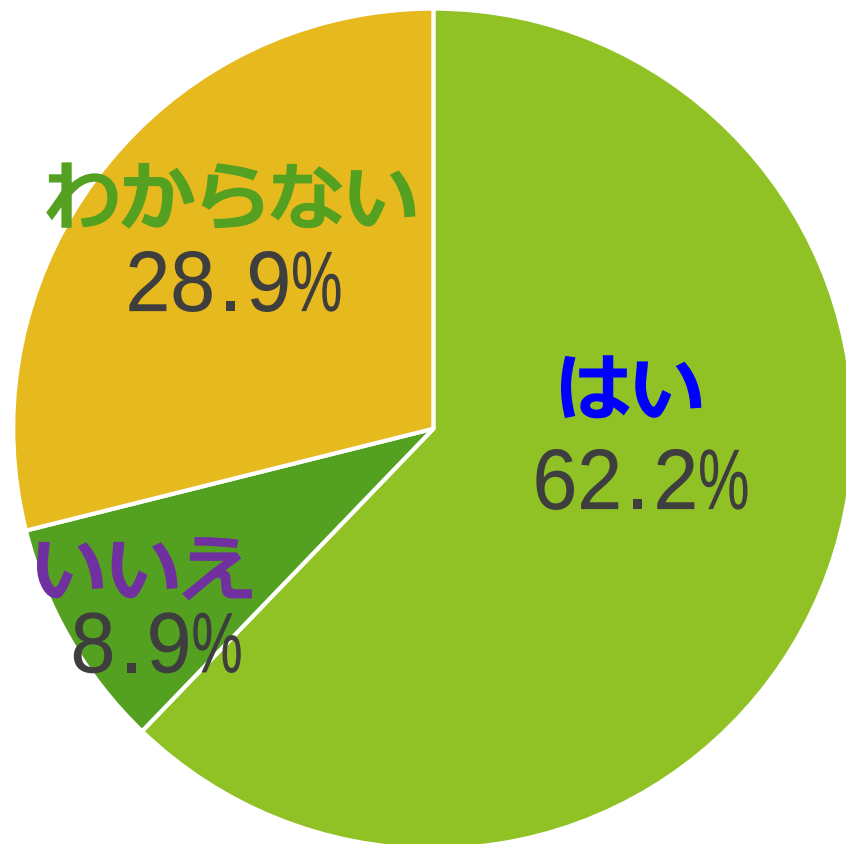
【実施期間】

令和3年8月26日～9月3日

【回収率】

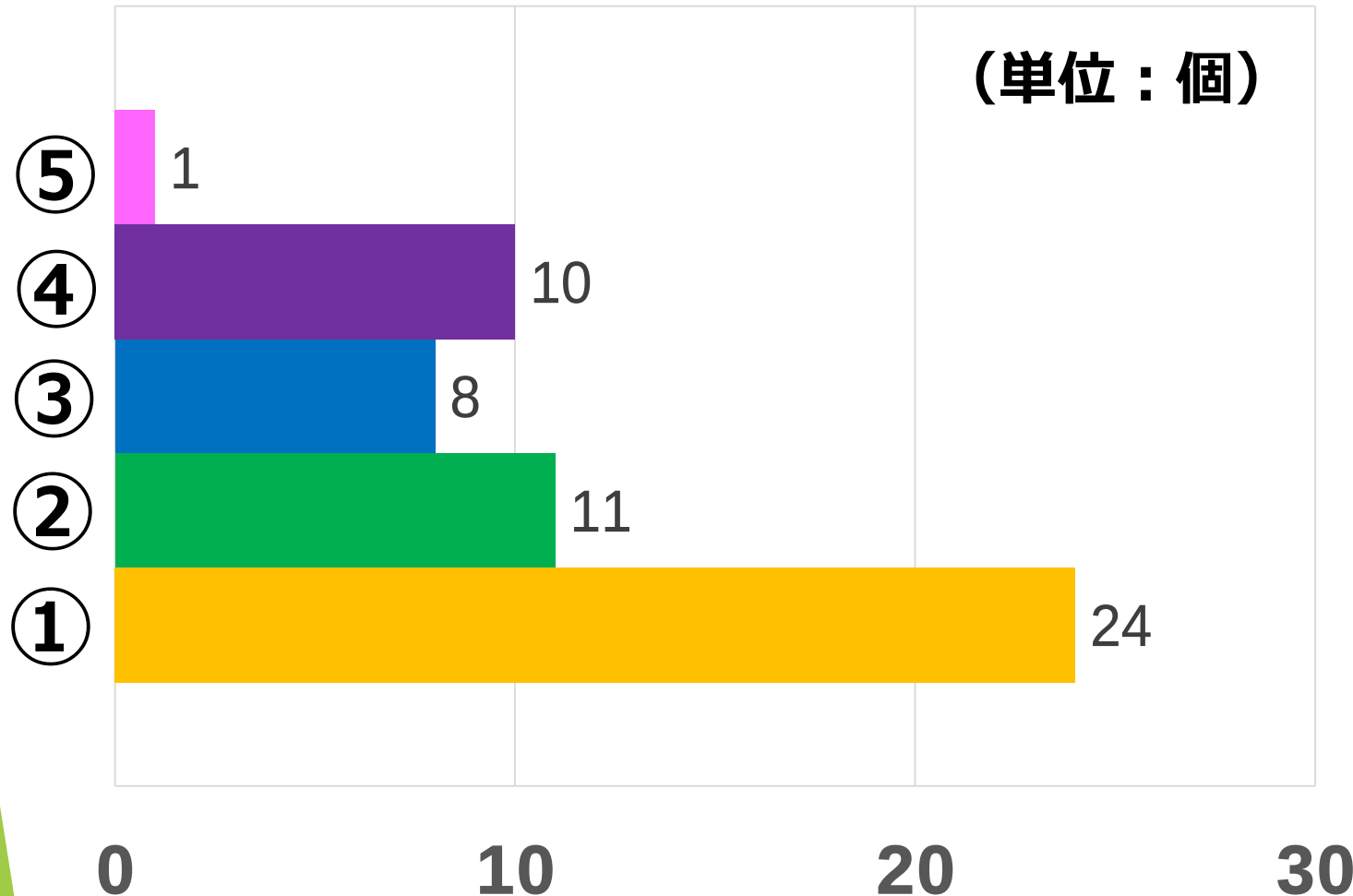
51.7%

Q1 あなたは、お子さんの学習面において、学校の小規模化により生じる良さ（メリット）を感じていますか？



- 6割以上の保護者が小規模化による学習面の良さを感じている。
- 小規模化による学習面の良さを感じていない保護者はごく少数。

Q2 あなたが感じている、お子さんの**学習面**における（学校小規模化による）**良さ（メリット）**はどのようなことですか（複数回答可）？



①授業における先生の指導がきめ細かい

②行事等で役割を担う機会が多くなりやすい

③授業等で発表の機会が多くなりやすい

④個々の児童の意見が取り入れられやすい

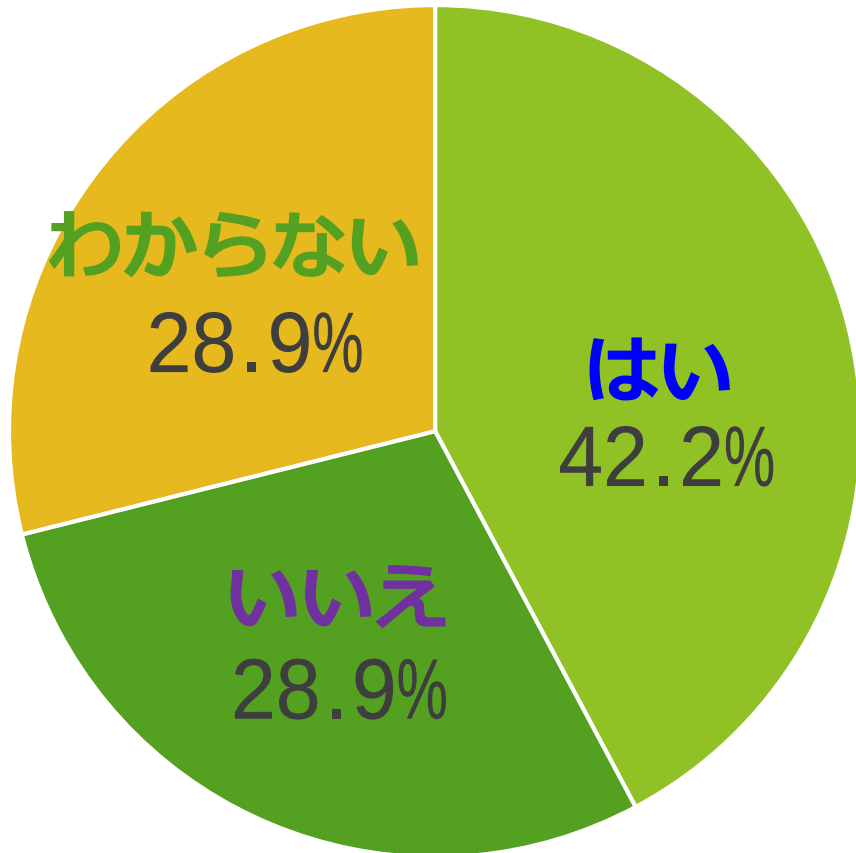
⑤その他

Q2 あなたが感じている、お子さんの**学習面**における（学校小規模化による）良さ（メリット）はどのようなことですか？

④その他（自由回答）

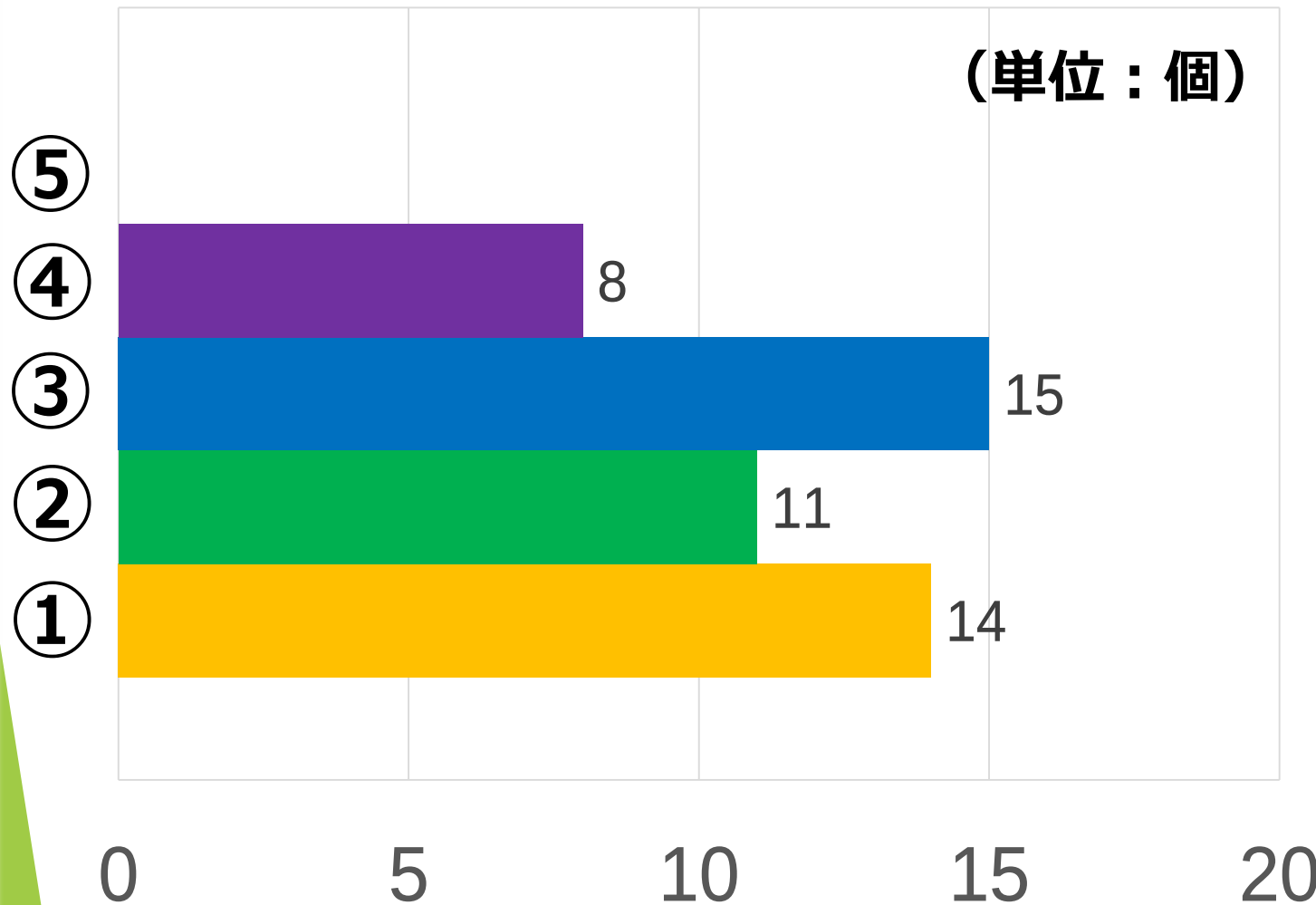
- 発言しにくいと感じて消極的な子にも目を配りやすい。
- 質問がしやすいのではないかと。1人に対し時間をかける事ができるのではないかと思います。

Q3 あなたは、お子さんの**学習面**において、学校の小規模化により生じる課題（デメリット）を感じていますか？



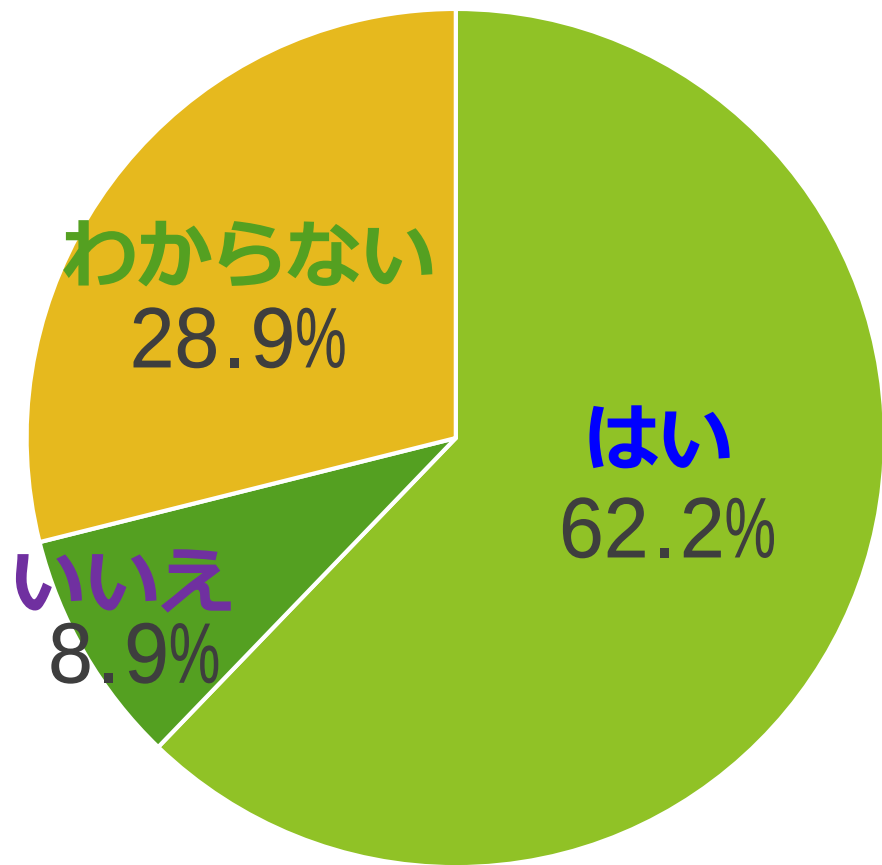
- 4割以上の保護者が小規模化による学習面の課題を感じている。
- 約3割の保護者は小規模化による学習面の課題を感じていない。
- 学習面の課題を感じている保護者が感じていない保護者を上回っている状況。

Q4 あなたが感じている、お子さんの**学習面**における（学校小規模化による）**課題（デメリット）**はどのようなことですか（複数回答可）？



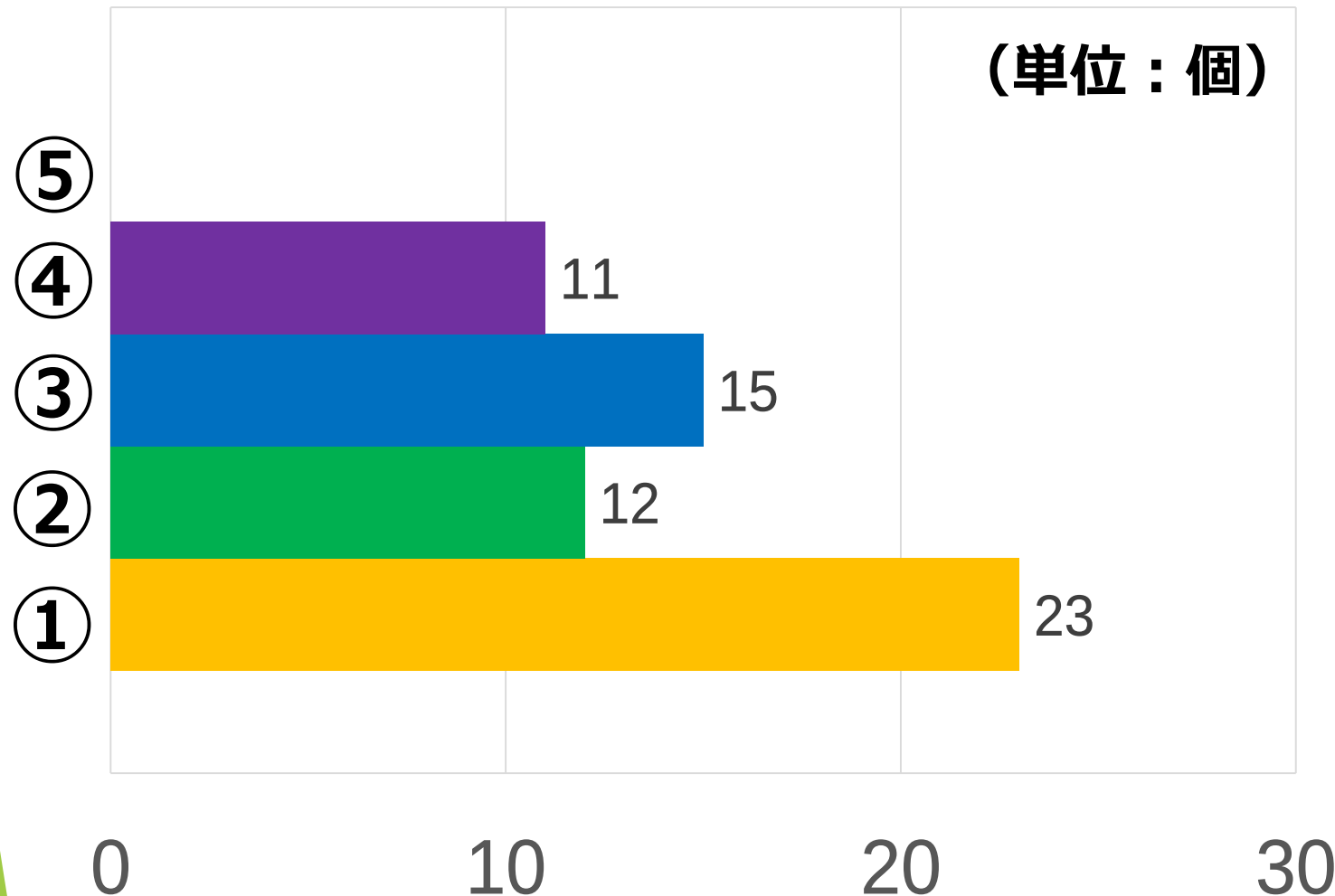
- ①競争意識を持ちにくい
- ②様々な考え方に触れる機会が少ない
- ③部活動の選択の幅が狭くなりやすい
- ④学級間競争による連帯感が生まれにくい
- ⑤その他

Q5 あなたは、お子さんの生活面において、学校の小規模化により生じる良さ（メリット）を感じていますか？



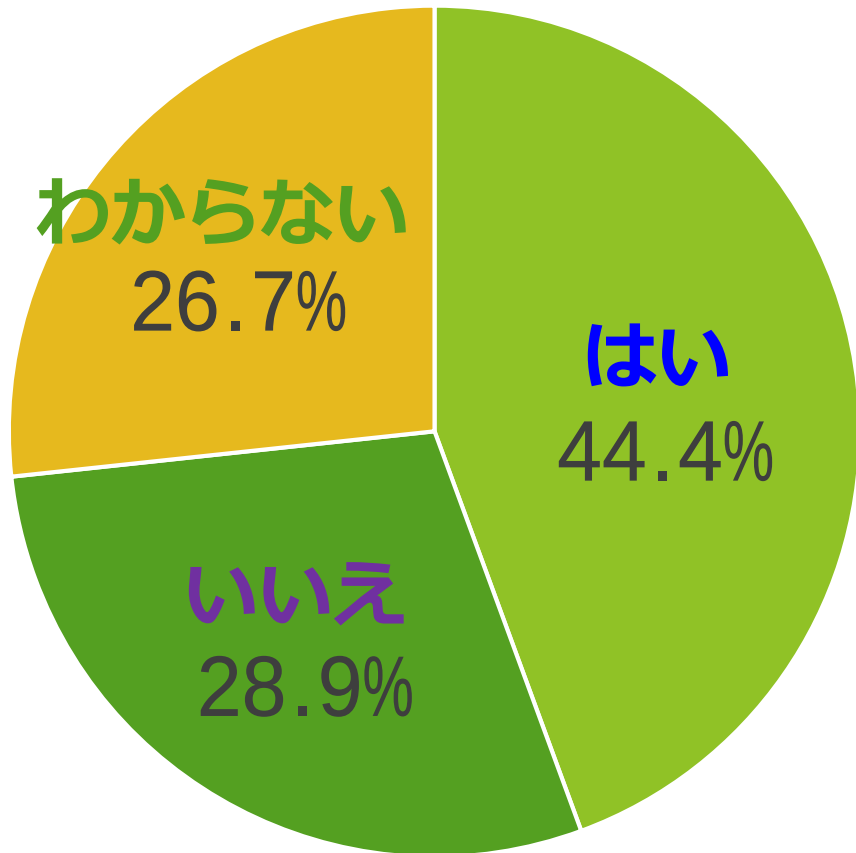
- 6割以上の保護者が小規模化による生活面の良さを感じている。
- 小規模化による生活面の良さを感じていない保護者はごく少数。
- 大部分の保護者が小規模化による生活面の良さを感じている状況。

Q6 あなたが感じている、お子さんの生活面における（学校小規模化による）良さ（メリット）はどのようなことですか（複数回答可）？



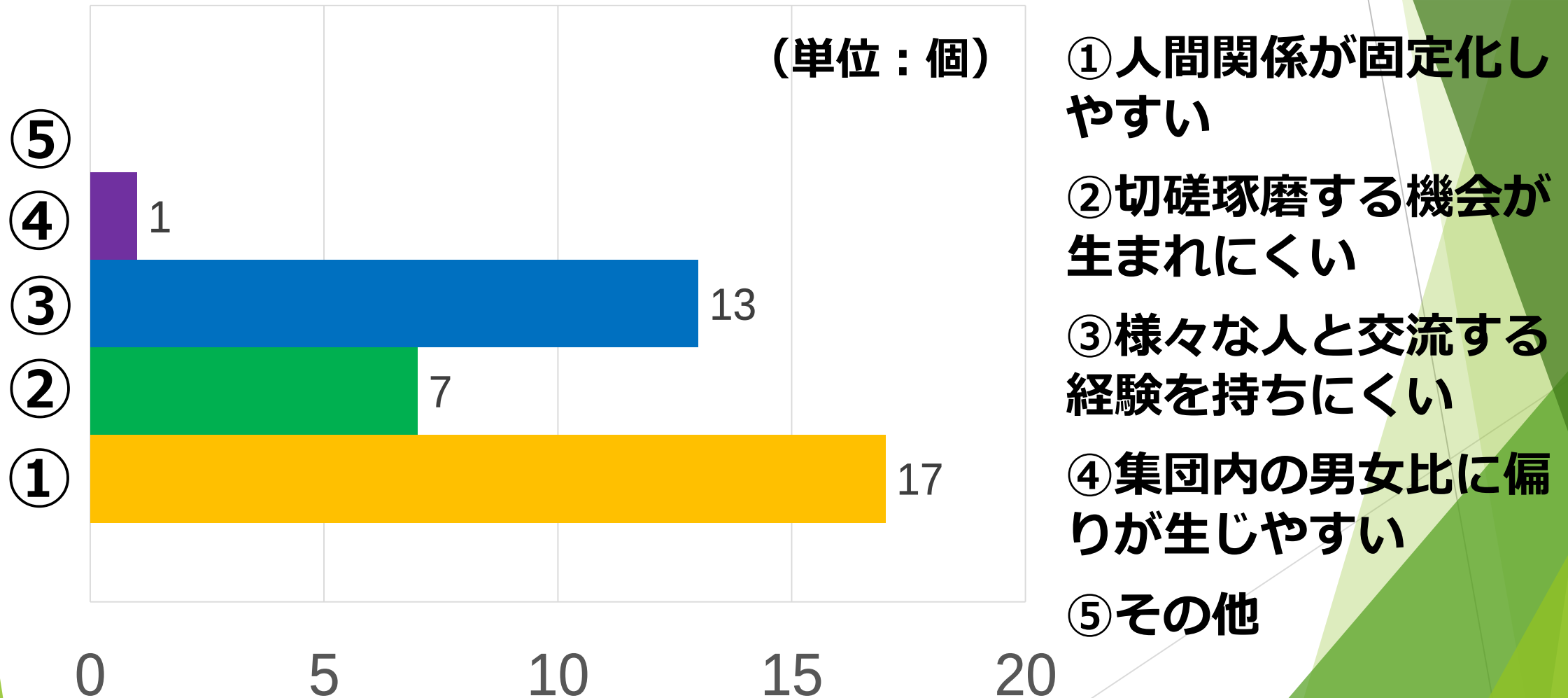
- ①生徒一人ひとりに先生の目が届きやすい
- ②生徒同士の間関係が深まりやすい。
- ③異なる学年との交流が生まれやすい。
- ④集団としての団結力が生まれやすい。
- ⑤その他

Q7 あなたは、お子さんの生活面において、学校の小規模化により生じる課題（デメリット）を感じていますか？

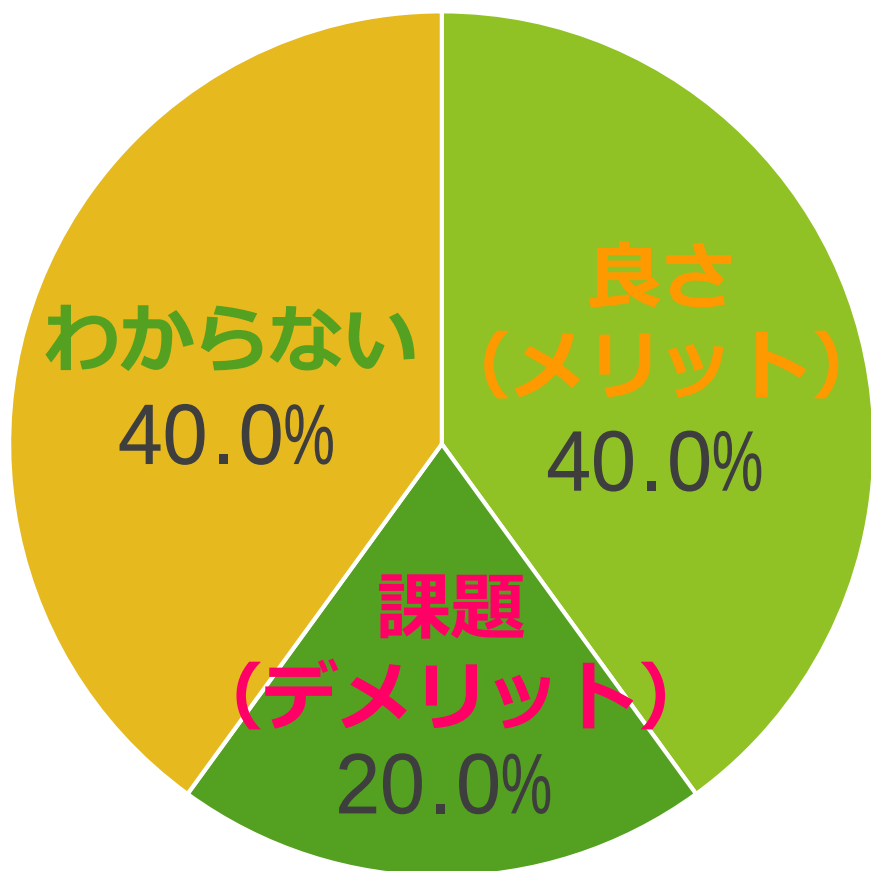


- 4割以上の保護者が小規模化による生活面の課題を感じている。
- 約3割の保護者は小規模化による生活面の課題を感じていない。
- 生活面の課題を感じている保護者が感じていない保護者を上回っている状況。

Q8 あなたが感じている、お子さんの生活面における（学校小規模化による）課題（デメリット）はどのようなことですか（複数回答可）？

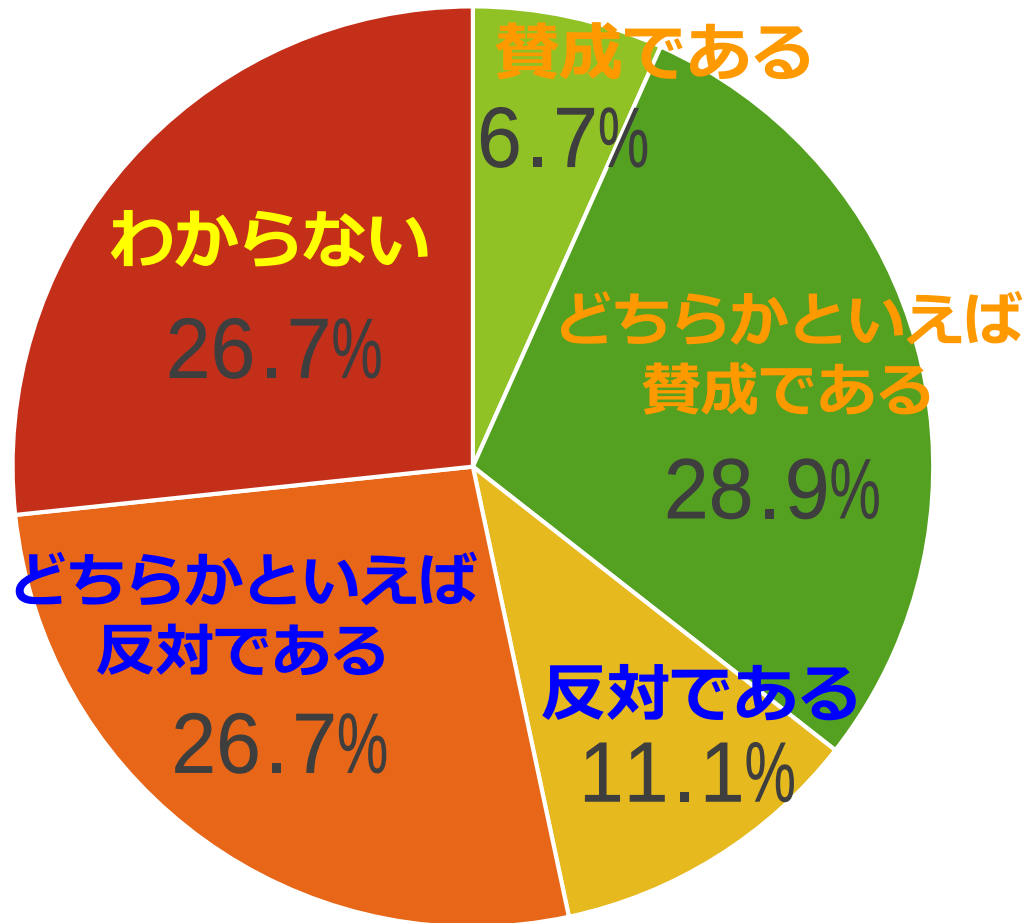


Q9 あなたは（学習面、生活面を通じ）学校の小規模化により生じる良さ（メリット）と課題（デメリット）、どちらをより強く感じていますか？



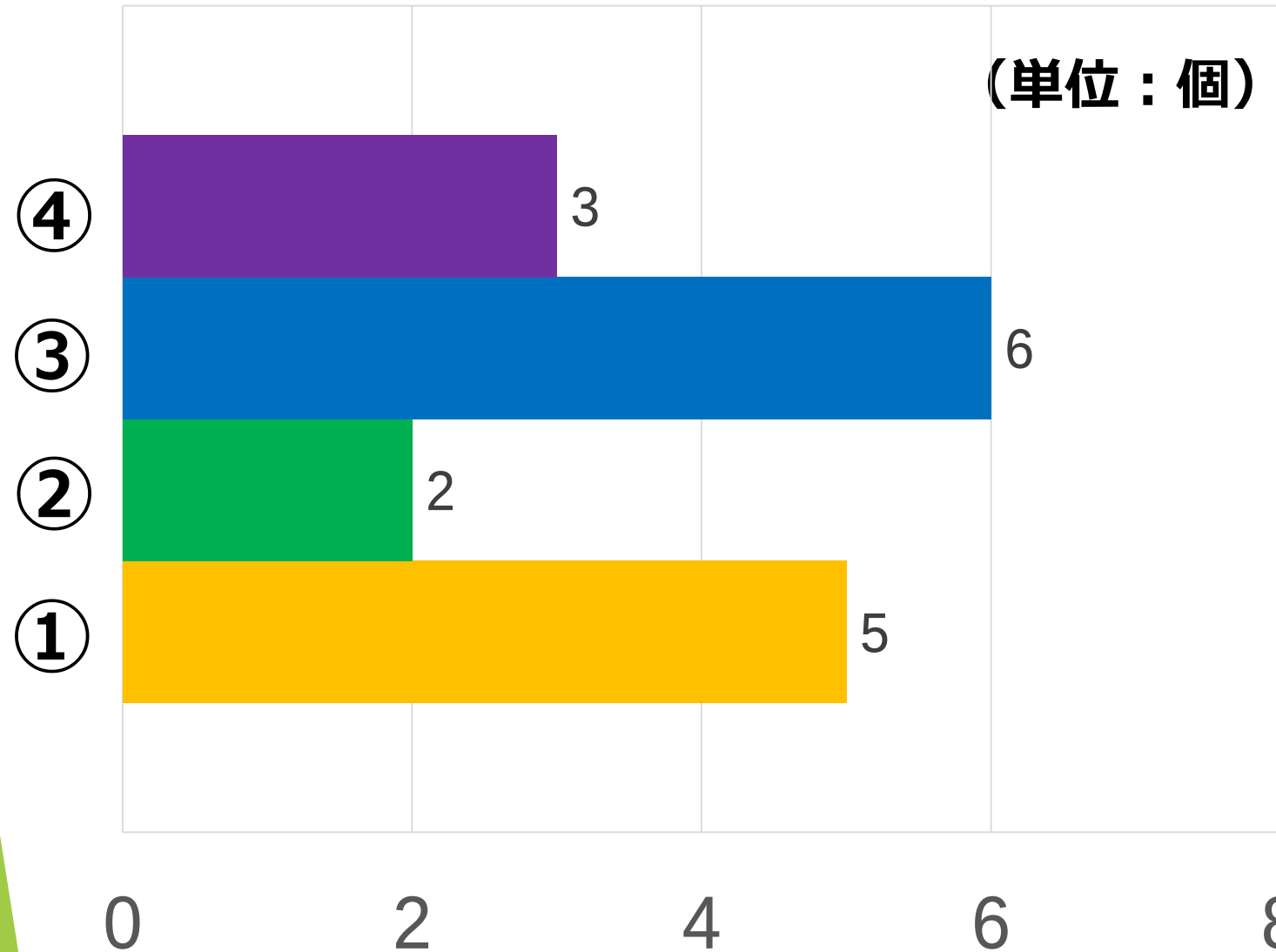
- 4割の保護者が小規模による良さ（メリット）をより強く感じている。
- 課題（デメリット）をより強く感じている保護者は2割。
- 4割の保護者がわからないと回答。

Q10 学校の小規模化で生じている課題（デメリット）を解決するには、近隣校との統合という手法が考えられます。あなたは学校統合についてどう考えますか？



- 「どちらかといえば」を合わせ、約36%の保護者が統合に賛成。
- 「どちらかといえば」を合わせ、約38%の保護者が統合に反対。
- 賛成と反対の割合が拮抗。
- Q9で「わからない」と回答した保護者や「良さをより強く感じている」と回答した保護者の一部も「賛成」と回答。

Q11 あなたが学校統合に反対する理由を教えてください。



①必要性を感じないから

②課題はあるものの良さの方が勝っているから

③必要性を感じるが子どもが環境変化に対応できるか不安だから

④その他

Q11 あなたが学校統合に反対する理由を教えてください。

④その他（自由回答）

- 学校が遠くなると早退、遅刻時等送り迎えができない。
- 子供を持つ親として職場が近いこと、地域の方に支えていただきながら学校生活を見守ってくれていること、地元で生まれ育ち、子育てをしている意味が無くなる、コロナ禍において密集させていくことにどのような対応と設備を考えているのか等、まだまだ議論が必要かと思います。
- 通学が困難になる。時間がかかるから。